

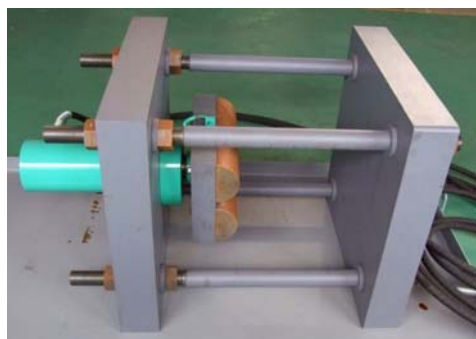
■大型リチウムイオン電池の安全性評価 圧壊試験

機械的試験の一種である圧壊試験では、JIS C8712、FreedomCAR/SAE J2464、UL 2580、中華人民共和国自動車業界標準 (QC/T743-2006)などに準拠しつつ、加圧板形状、圧壊速度、圧壊方向、雰囲気温度などで独自の変更にも対応することが可能です。

単セルのみではなくモジュールや一部のパックでの試験にも対応することが出来ます。

モジュールやパックとして組み立て状態にある複数の電池を、そのまま圧壊することも可能です。

試験は全て、排ガス処理用スクラバーを接続した小型のキュービックチャンバー（幅3m×奥行き3m×高さ3m）もしくは下記大型のドームチャンバー内で行いますので、発生ガスや煙の大気放出は、ほとんどありません。どちらも、圧壊状況はその場観察用ビデオで録画をし、さらに温度、電圧変化などを記録することが出来ます。



圧壊試験装置



キュービックチャンバー



排ガス処理設備

大型電池や組電池の圧壊試験への対応

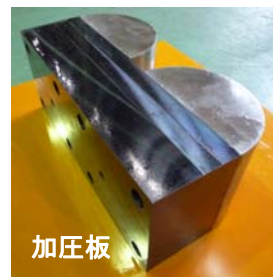
大型電池やモジュール等の組電池では、内径6m×内高さ7mの円筒形大型鋼鉄製チャンバー（ドームチャンバー）内に設置した圧壊試験機を使用します。



ドームチャンバー



垂直押し圧壊試験



加圧板



水平押し圧壊試験

お問い合わせは、
株式会社コベルコ科研まで
eigyo@kki.kobelco.com